

## G20 観光大臣会合推進会議 第 2 回幹事会 議事録

2018 年 10 月 23 日(火) 15:00～15:20  
北海道庁本庁舎 3 階 テレビ会議室  
後志総合振興局 2 階 テレビ会議室

### (北海道総合政策部 G20 観光大臣会合担当局長：中島俊明)

- 本日は、お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。私は、北海道総合政策部 G20 観光大臣会合担当局長の中島でございます。よろしくお願いいたします。
- ただいまから、G20 観光大臣会合推進会議第 2 回幹事会を開催させていただきます。本日の進行につきましては、私が務めさせていただきます。
- まず、開催に当たりまして、幹事長であります北海道総合政策部長の小野塚からご挨拶申し上げます。

### (北海道総合政策部長：小野塚修一)

- 皆様お疲れ様でございます。北海道総合政策部長の小野塚でございます。本日は大変ご多忙なところ、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。
- 北海道におきましては、先月 6 日に発生いたしました、これまで経験したことのない最大震度 7 を記録する、胆振東部地震と、その後の道内全域での停電により、道民の皆様の暮らしや産業活動など、直接的な被害もございましたし、また、外国人観光客の来道者数の落ち込みなど、様々な影響が生じておりまして、被災地域の復興支援ですとか、観光の風評被害の払拭などの取組が喫緊の課題となっているところでございます。
- こうした中で、G20 観光大臣会合の道内開催は、インバウンドの推進などに向けまして、北海道の魅力を国内外に広くアピールする絶好の機会でございますことから、地元としての受入体制整備などの準備をしっかりと進めていかなければならないと考えておりまして、道においても、10 月 16 日付けで G20 の専掌組織を立ち上げたところでございます。
- この推進会議の幹事会につきましては、先月の地震震災の影響のため、書面開催という形になりましたが、第 1 回幹事会を開催いたしまして、G20 観光大臣会合の開催概要の報告と、今後の推進体制や、推進する事業について提案をさせていただいたところでございます。
- 本日は、その際に幹事の皆様からいただいたご意見を踏まえた推進事業計画案と官民連携組織の今後の進め方に関わる推進会議の規約改正などについて協議を進めてまいりたいと考えております。皆様には引き続き、特段のご協力を賜りますようお願いを申し上げます。開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

### (北海道総合政策部 G20 観光大臣会合担当局長：中島俊明)

- 本日の出席者につきましては、お配りしている出席者リストをご覧くださいと思います。テレビ会議システムを使いまして、札幌と倶知安の 2 会場を繋いで進めさせていただきます。
- ご発言の際には、マイクのスイッチをオンにして、お話しいただき、お話しが終わったところで、スイッチを切っていただければと思います。よろしくお願いいたします。
- それでは、次第に沿って進めさせていただきます。最初に、議題の一つ目、G20 観光大臣会合推進事業計画案につきまして、国際課からご説明申し上げます。

## (北海道総合政策部 G20 観光大臣会合担当課長：櫻井達美)

- G20 観光大臣会合担当課長の櫻井です。よろしくお願いいたします。
- 議題 1 について私から説明をいたします。資料 1 をご覧ください。基本的には、書面開催として開催しました第 1 回目の幹事会と同じ内容の資料ですので、ポイントのみ、また若干の変更点、追加点を中心に説明させていただきます。
- まず、1 番目として、基本的な考え方でございます。これは、当推進会議の規約の目的に記載されているところでございますが、官民一体となったオール北海道で受入体制を確立し、支援・協力を行うこと、そして、大臣会合の機会を捉えて北海道の魅力のアピールということでございます。
- 2 番目の事業の構成についてでございますが、まずは前提として、第 1 回目の幹事会では説明していましたが、また、本日の議題 2 として審議いただくのですが、推進会議を実行委員会に組織替えする予定であることを念頭に置いてご説明をさせていただきますが、左側に実行委員会主催事業として、開催支援、気運醸成、おもてなし、地域 PR の 4 本の柱で事業を実施していきたいと考えているところです。そして、右側にある連携事業として、民間企業、関係団体の独自事業などを記載しております。また、一番下のところで、寄附・協賛をもとにした推進事業ということも行っていくことを予定しております。
- 2～3 ページですが、ここは、第 1 回目の幹事会資料と基本的に同じですので、説明は割愛させていただきます。
- 4 ページをご覧ください。実行委員会事業に係る予算ということでございます。先ほど説明をしました 4 本を柱とする事業内容については、第 1 回目の幹事会と同じ内容になっております。冒頭の小野塚部長の挨拶でもありましたけれども、書面開催の際に、意見提出を皆様へ依頼しておりましたが、その中で、木材産業協同組合連合会様から、「歓迎レセプションで使用するトレイや箸に道産材を提供したい。」、そして、「エクスカージョンの候補地として木造施設や展示林などを加えるということを検討してみたい。」ですとか、「北海道の特色として、食と観光はもとより、雄大な景観を提供する森林や環境に優しい素材としての木製品の P R について、事業計画を策定する際に配慮していただければ。」というご意見をいただいております。また、書面での意見提出ではなかったのですが、ホクレン農業協同組合連合会様からは、「食の P R について取り組んでいきたい。」ですとか、「農村景観も観光の売りと考えている。」ということを口頭でいただいていたところでございます。こうしたご意見は、具体的には、おもてなしの項目の①歓迎レセプションの実施、地域 P R の項目として、①から④のエクスカージョンの実施、プレスツアーの実施、食の P R イベントの実施、情報ブースの設置などの事業を実際に実施していく上で、反映していきたいと考えております。
- 4 ページ目で、第 1 回目の幹事会資料に入っていなかった新たに追加した情報が二つございます。一つ目は、一番上の行に書いてありますが、事業年度といたしまして、事業計画の策定から 2020 年 3 月 31 日までの間、にしたいと考えております。これは、この実行委員会自体が約 1 年間という限られた期間ということになりますので、会計事務の簡素化を目的として、2020 年の 3 月までという形にしたいと思っております。それから、予算額を今回入れさせていただきました。事務局運営費も含めて、支出を 91 百万円と考えております。見合う収入といたしまして、道の負担金 54 百万円、倶知安町及び倶知安町民会議負担金を 27 百万円。そして、民間からの寄附や協賛についても、1 千万円を目標に募っていきたいと考えております。なお、北海道と倶知安町の負担金については、いずれも、実行委員会予算に最終的に計上されるのは、それぞれの議会での議決を経てからになることを、申し添えておきます。
- 次に 5 ページをご覧ください。4 の連携事業につきまして、第 1 回目の幹事会の資料にはなかったこととして、民間企業等の独自事業の事業例を新たに記載しました。例えば、道内テレビ局に G20 観光大臣会合に関する地元の取組を取り上げてもらうなどの自社制作番組や、②関連したフェアやセミナーの企画・実施、⑤ポスターや懸垂幕の掲示やリーフレット等の印刷協力、⑥食材や資料の提供などというものを私どもとしては考えているところでございます。また、(3)として、民間企業等から寄附や協賛を募って連携事業も行っていきたいと考えております。

- 次に、「5 パートナー・スポンサー」についてですが、ここも新たに追加したところでございます。連携事業を実施していただく企業・団体をパートナーとして、また、寄附をいただく企業・団体をスポンサーとして登録していきたいと考えております。
- 次の6ページ目の推進スケジュールについては、第1回目の資料と同内容のため、説明は割愛させていただきます。
- 以上で説明は終わります。

**(北海道総合政策部 G20 観光大臣会合担当局長：中島俊明)**

- ただいまの説明にご質問等ございますでしょうか。

－特に発言なし－

**(北海道総合政策部 G20 観光大臣会合担当局長：中島俊明)**

- それでは、議題2のG20 観光大臣会合推進会議規約改正案につきまして、国際課から説明させていただきます。

**(北海道総合政策部 G20 観光大臣会合担当課長：櫻井達美)**

- 規約改正について、資料として、2-1「新旧対照表」、2-2「改正後の規約全文と構成員の名簿」を配布しております。2-1に基づいて、変更となる主なものを説明させていただきます。
- まず、第1条といたしまして、名称をこれまで推進会議であったものを実行委員会と称するという形にしたいと思っております。それから第3条の実施内容といたしまして、(3)として、大臣会合関連事業の企画及び実施に関することということを加えたいと思います。そして、第5条と第6条ですが、役員と役員の職務についてですが、いずれも3項を追加したいと思っております。摘要に記載しておりますが、事業予算を持つことから、役員に幹事を追加、そして幹事の職務も追加したいと思っております。事務局で相談をし、内諾をいただいているのですが、幹事は北海道経済連合会会長を持って充てるとしたいと思っております。
- 2ページ目をご覧ください。第9条の総会でございますけれども、第2項の(2)の実施方針及び実施体制を事業計画及び予算に関することと変更したいと考えております。摘要欄に記載しておりますが、委員会に移行することによりまして、議決項目を実際に実施していく、そして予算を持つということから、このように変更しております。そして(3)として、これは新規になりますが、決算に関すること総会の事項ということで、追加したいと思います。
- 3ページをご覧ください。第13条として、財務に関する条文を追加したいと考えております。実行委員会の経費は、負担金、寄附金及びその他の収入をもって充てる、そして、事業年度についても、第13条の2項として追加したいと考えております。
- それから、新旧対照表の新しい第15条、解散のところでございますが、これも第2項を追加いたしまして、予算を持つこととなりますので、最終的に残余財産が出た場合に、実行委員会が解散する時に、残余財産は、総会議決を経て処分するという項目を付け加えたいと考えております。以上が主な変更点でございます。
- なお、構成員としては、資料2-2に添付している資料に新しい構成員を記載しております。これまでの推進会議と同じく17団体の皆様を委員として、また7団体から顧問として参画いただくことと考えております。1点だけ補足をさせていただきますが、これまで、仮称として「G20 観光大臣会合を盛り上げる学生ボランティア団体」として推進会議の構成員として参画していただいておりますが、同団体から、観光大臣会合の英訳が、Meeting Tourism Ministersということで、その頭文字を取って、「G20MTM 学生サポーターズ」という名称にしたという報告がございましたので、それを反映させていただいております。

- 以上で説明を終わります。

**(北海道総合政策部 G20 観光大臣会合担当局長：中島俊明)**

- ただいまの説明にご質問などはございますでしょうか。

－特に発言なし－

**(北海道総合政策部 G20 観光大臣会合担当局長：中島俊明)**

- 先ほどご説明した事業計画案、それから規約の改正につきましては、本幹事会でご承認いただき、10 月末、来週を想定してございますが、開催予定の総会にて審議したいと考えておりますが、ご異議等ございませんでしょうか。

－特に発言なし－

**(北海道総合政策部 G20 観光大臣会合担当局長：中島俊明)**

- 異議ないようですので、本資料をもちまして、次回の総会にて審議いただくこととさせていただきます。
- 以上で、本日事務局が用意した議事は終了いたしました。この機会に何かご発言等がございましたらお願いいたします。

**(倶知安町 G20 観光大臣会合推進室長：土井良起)**

- 倶知安町役場、町民会議を代表いたしまして、土井と申します。いつもお世話になっております。
- 本日は、倶知安町で行われます大臣会合のため、推進会議幹事会を開催していただきまして、誠にありがとうございます。地元、倶知安町、町民会議としても御礼を申し上げたいと思います。
- 倶知安町では、今年 6 月に G20 の町民会議を立ち上げておりますが、現在 12 月の議会に向けまして、町民会議予算を提案できますよう、町民会議の部会において、事業計画を最終調整中でございます。町民会議におきましても、道の推進会議と同じような事業がございますので、今後は事務方レベルでご相談させていただきながら、合同で事業を実施していければ、より効果的だと考えておりますので、よろしく願いしたいと思います。
- 先日、国や北海道、道警や、消防と事務方による現地視察がございまして、これから大臣会合に向けた調整がますます進んでいくと思われませんが、地元として国や北海道と連携しながら大臣会合の受入体制について、しっかり進めてまいりたいと考えておりますので、本日、お集まりの関係機関の皆様におかれましては、オール北海道での受入について、ご協力のほど、よろしく願いしたいと思います。本日はありがとうございました。

**(北海道総合政策部 G20 観光大臣会合担当局長：中島俊明)**

- ありがとうございました。他にございませんでしょうか。

－特に発言なし－

**(北海道総合政策部 G20 観光大臣会合担当局長：中島俊明)**

- 以上をもちまして、G20 観光大臣会合推進会議第 2 回幹事会を閉会させていただきます。
- 本日は、誠にありがとうございました。